

温暖化防止ながれやま便り

第46号 2022年12月

NPO 温暖化防止ながれやま
代表 増永 弘
流山市西平井2-16-7
編集 吉永 泰祐

創立20周年記念事業 令和4年11月5日

創立20周年記念イベントを令和4年11月5日(土)に実施しました。イベントは3部からなり、記念植樹、式典、懇親会でした。記念植樹はおおたかの森駅西口ロータリーに「欒」の苗を植えました。植樹では集まった関係者が交代で土をかけ、「20周年記念の碑」を設置しました。



(写真提供 野田エコライフ推進の会 田中和孝様)

植樹後にはスタートおおたかの森ホールで「創立20周年記念式典」が行われ、井崎義治市長、齋藤健衆議院議員(現法務大臣)、武田正光県議会議員などの御来賓のご臨席を頂きました。式典では齋藤議員から「最近の温暖化対策について」のご講演をいただきました。

式典後には懇親会が開催され、スライドショーで「20年の歩み」を紹介し、元気ネットの鬼沢理事長から「ローカルSDGs」の講演をいただきました。ま

た多くの関係団体の方々からお祝いのお言葉を頂きました。また、「創立20周年記念誌」(全21ページ)を刊行しました。



井崎義治流山市長による来賓祝辞



齋藤健衆議院議員(現 法務大臣)による講演「最近の温暖化対策について」



鬼沢良子元気ネット理事長による講演「ローカルSDGs」



増永弘代表による謝辞とこれからの決意表明



植樹の際の集合写真



式典の際の集合写真

第3回 市民環境講座

「ながれやま脱炭素未来ワークショップ」

令和4年12月11日(日曜日)、南流山センターで第3回市民環境講座「ながれやま脱炭素未来ワークショップ」が行われました。市民環境講座は市が市民活動団体「温暖化防止ながれやま」に委託して実施している事業です。会場では、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらグループワークや講義を実施しました。



今回は、市内の中学生20人が参加。4つの班に分かれてのグループワークを行いました。千葉大学大学院社会学研究院教授・倉阪秀史さんから流山市の未来の課題、脱炭素の必要性と方策に関する講義を受けた後に、中学生同士で流山市の2050年の課題解決のために今から何をすべきかを話し合いました。



講義では、中学生たちが2050年の未来市長になったつもりで、今から取り組んでおかないと大変だと考えたことや課題など、倉阪先生の説明の中で重要だと思ったことを1つずつ付箋に書いて、最後に模造紙に付箋を貼ってまとめて発表をしました。



倉阪先生の講義では、人口、産業、保育・教育、廃棄物・リサイクルなど幅広いジャンルについて学びました。人口については、2050年に流山市の人口が4%増加すると予測されることや、人口は増加しても、高齢

化が以前よりも早く進行してしまうことの説明がありました。

医療・介護では 2050 年に、日常的に介護を必要とする人の中で、6 人に 5 人は家庭で介護しなければいけなくなることが話されました。

さらに、再生可能エネルギーは、化石燃料による火力発電に比べて発電に伴う二酸化炭素の排出量が少ないため、脱炭素を目指すためには必要不可欠だという説明がありました。



最後には、中学生がグループごとに井崎市長への政策提言を考え、発表をしました。発表では「授業の総合の時間に地球温暖化について学ぶ時間を作る」「二酸化炭素の吸収量の多い樹木を植樹する」などさまざまな政策提言がありました。井崎市長からは、「学習して問題意識を持つことが大切です。特に脱炭素は子どもだけでなく大人にも啓発が必要です。流山市ではグリーンチェーン戦略で 17 年間で 58 万本の植樹がありました。今後もみどりを意識して増やす政策を進めていきます」とお話しがありました。

発表後には、参加者は参加終了証を受け取りました。

暮らしの SDGs 学習会

第 183 回 食の安全と 3R (寿司パーティ)

副代表 寿司職人 高橋 勇



鮭マナーについて経験談を伺い、江戸前鮭を食しました。

鮓、鮭、寿司について、食の安全と 3R を考えて解説を頂きました。

第184回 小学生でもわかるSDGs

横田 輝雄

SDGsの基本を12歳までに身に着けたい、だけど17個の目標すべてについて考えるのは大変かもしれない、だけど普通の暮らしの中にSDGsはたくさん隠れている。

毎日遊んでいる公園(目標11、住み続けられる街づくり)。私は海の生き物が好き(目標14、海の豊かさを守ろう)。私たちの日本も豊かといわれているが7人に1人の子供が貧困に苦しんでいる、だから日本も無関係じゃない。

SDGsは大きく分けて3つの層に分かれている

・経済(目標8・9・10・12)

持続可能な経済活動を通じて金や価値を生み出す目標

・社会(目標1・2・3・4・5・7・11・16)

社会的に弱い立場、少数派の人を含めて暮らしやすい社会への目標

・環境(目標6・13・14・15)

海、森林 地球環境を守る目標

17の目標はあるが、きまっているのは目標だけ、たどり着く方法はそれぞれにゆだねられている、目標達成の2030年、そのころ大人になる子供たちに興味と理解がどれだけ持てるか、工夫してみました、私たちも子供と一緒に世代を超えて先の世界を作っていきたい。

編集後記

この号の対象期間(2022年10月から12月)は、創立20周年記念事業、ながれやま脱炭素未来ワークショップなど、温暖化防止ながれやまにとって大変多忙な期間となった。そのような中であって息抜きを兼ねて寿司職人の高橋副代表に寿司パーティを開催していただくなど、多彩な催し物が行われた3か月であった。流山市長、斎藤法務大臣(20周年時には就任1週間前)をはじめ関係各位のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。

広報担当 吉永泰祐



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

